



平成28年11月11日

各 位

会 社 名： 住江織物株式会社
代表者名： 取締役会長兼社長 吉川 一三
(コード番号：3501 東証第一部)
問合せ先： 執行役員経営企画室部長 新實 啓悦
(TEL 06-6251-6803)

(再訂正)「平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年10月28日に開示いたしました『(訂正・数値データ訂正)「平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について』の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正内容と理由

有価証券報告書等の訂正報告書の確認作業において、誤記載が判明したものであります。

2. 訂正箇所

(訂正・数値データ訂正)「平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

訂正後の記載

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明
- (2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

訂正後の記載

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正後)

<前略>

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内では、新規に受注した車種が順調に推移し、また収益改善の取り組みも奏功し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。海外では、新たに加わった連結子会社(米国・インドネシア)が寄与し、売上は前年同期を大幅に上回りました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件がないものの、新車製造の継続案件と民鉄のリニューアル改造工事が好調に推移し、売上に貢献しました。バス向けは、新車発注が引き続き好調に推移しており、オプション仕様による高付加価値商材の需要拡大により、売上、営業利益ともに伸長しました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高279億円(前年同期比20.0%増)、営業利益13億36百万円(同14.5%減)となりました。

<後略>

(訂正前)

<前略>

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内では、新規に受注した車種が順調に推移し、また収益改善の取り組みも奏功し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。海外では、新たに加わった連結子会社(米国・インドネシア)が寄与し、売上は前年同期を大幅に上回りました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件がないものの、新車製造の継続案件と民鉄のリニューアル改造工事が好調に推移し、売上に貢献しました。バス向けは、新車発注が引き続き好調に推移しており、オプション仕様による高付加価値商材の需要拡大により、売上、営業利益ともに伸長しました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高279億円(前年同期比20.0%増)、営業利益18億36百万円(同14.5%減)となりました。

<後略>

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加し、903億16百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、509億6百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加し、394億9百万円となりました。

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少し、903億16百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、509億6百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加し、394億9百万円となりました。